

プラレールチェーンHPシリーズ用取扱説明書

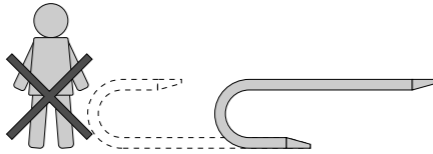
本製品の正しい使い方をご理解いただく為に、ご使用前に必ず本取扱説明書をよくお読みくださいますようお願いいたします。(写真中のマーク・矢印等は説明の為、過大表現してあり実際の製品とは多少異なります。)

警告

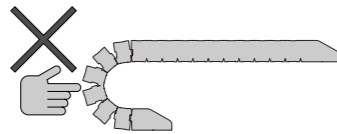
1. プラレールチェーンの上には絶対に乗らないでください。破損して落下する危険があります。



2. プラレールチェーンの連結、切り離し、開閉、保守点検等の際にはプラレールチェーンが動かないようにしてください。自重により自走したり、倒れたりして負傷する危険があります。



3. プラレールチェーンの屈曲部にご注意ください。屈曲部で手を挟んだりして負傷する危険があります。



4. プラレールチェーンの保守点検の際には必ず装置の電源を切り安全対策を施してください。

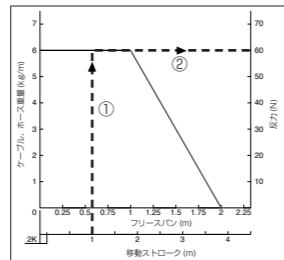
5. 各タイプ毎に記載されている仕様、条件以外では使用しないでください。

6. 製品の基本構造や性能、機能に関わる分解や改造は行わないでください。

7. 取付金具が緩まないように確実に締付けてください。緩みが生じるとシステム全体の破損の原因となる危険があります。

8. プラレールチェーンの取付部にはシステムの仕様により慣性力、質量負荷、反力(プラレールチェーンが膨らもうとする力)が加わります。取付部を設計される際には十分な強度を確保するようにしてください。取付部の強度が足りないシステム全体の破損の原因となる危険があります。尚、反力につきましては弊社総合カタログに掲載されていますプラレールチェーンの能力線図より算出することができます。

- 対象機種種の能力線図より移動ストローク値を上方に辿っていきます。(右グラフはシステムの移動ストローク値が1mの場合)
- 能力線図と交わった所で反力の軸方向に辿っていきます。その時の値が反力の最大値となります。(右グラフの場合は60Nとなります。)



注意

- 弊社総合カタログの「プラレールチェーン能力線図」をよく確認して最も適したプラレールチェーンをお選びください。尚、ご使用の際はいろいろな影響要因が考えられますのでテストしてからご使用ください。
- プラレールチェーンは、内容物を収納した時の垂れを防ぐため、内容物を収納しない状態では、外周側に膨らむ様に設定されています。
- プラレールチェーンは、リンクを増減させることにより長さを調整させることができます。設計時及び長さ調整が必要な場合には、弊社総合カタログのリンク計算式を確認の上、必要リンク数を算出してください。
- プラレールチェーンを装置へ設置される際、移動端、固定端それぞれの取付け金具を走行軸線上に沿って、平行に取り付けるようにしてください。また振れを伴う走行を行いますと、設置システム全体の破損を引き起こす原因となります。
- 収納するケーブル・ホース・チューブ類は屈曲性、耐摩耗性に優れた運動用の物をご使用ください。又、ワイヤブレード外装の物は傷みやすい事がありますので使用しないでください。
- ケーブル・ホース重量が重く、走行速度、加速度が速い場合等、条件によって走行開始時、又は停止直後に慣性により屈曲部付近が膨らむことがあります。設計の際は、弊社総合カタログを参考に十分なHF寸法を確保してください。
- 特別な環境下で使用の際は最寄りの営業所にお問い合わせください。
- ケーブル・ホースの挿入量はプラレールチェーンの内容量の60%以内に納まるようにしてください。
- ケーブル・ホースはできるだけ水平に並べて交差しないようプラレールチェーンに収納してください。
- ケーブル・ホースは左右バランス良く配列し収納してください。
- 取付金具には無理な負荷を掛けないようにしてください。
- 内容の違う物(エアチューブ、水チューブ、導線等)と一緒に収納する場合は、収納する物の中で屈曲半径が最大の物に合わせてプラレールチェーンの屈曲半径を選定してください。
- 組立て、分解作業を行う際にはケガをしないよう十分な装備をして行ってください。
- マイナスドライバーを使っての作業時には、手にケガをしないようご注意ください。
- 本体連結及びフラップ開閉には、マイナスドライバーを使用いたしますので、下表を参考にお客様にてご用意ください。

●適用ドライバー先端幅一覧表

シリーズ	HPU	HPO	HPE(※)	HPK	HPM	HPC
	102	202, 203	204, 206, 306	408, 412, 615		
	—	202, 204, 206	—	408, 412, 512, 819		
	—	—	—	全サイズ		
	—	101, 202, 203	204, 206	—		
	—	全サイズ	—	—		
	—	—	全サイズ	—		
適用ドライバー先端幅 (mm)	2	2.5	4	6		

※.HPEシリーズのフラップ開閉時には先端幅4.5mmのドライバーを使用してください。

1. 取付金具着脱方法

■HPシリーズ共通(※)
本体の移動端(ピボットのある方)に穴あきの金具を、固定端(穴のあいている方)にはピボットのある金具をはめてからネジ用の取付け穴を利用し固定します。

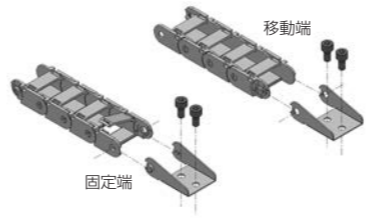


※.HPU102, HPK101, HPC50・100・200を除く

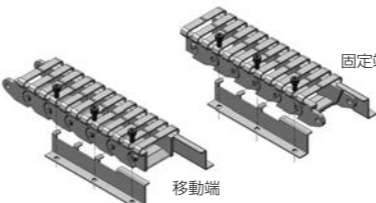
■HPK101の場合
リンクの内側から上か下どちらかの壁に引っかけるように固定します。(金具は内周取付け、外周取付け兼用です。)



■HPU102の場合
本体の移動端(ピボットのある方)に穴あきの金具を、固定端(穴のあいている方)にはピボットのある金具をフラップを開けて押し込みます。

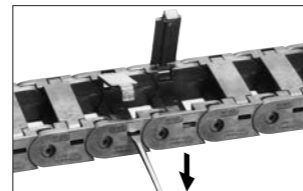


■HPC50・100・200の場合
外側、側面からフラップの隙間に金具の凸部をはめてからネジ用の取付け穴を利用し固定します。



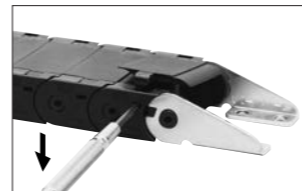
2. フラップ開閉方法

■HPUシリーズ



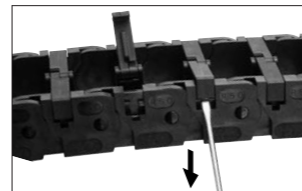
- フラップの開き方
側面の窓にマイナスドライバーを差し込み倒すようにすると開きます。
- フラップの閉じ方
フラップを上から押さえるようにして閉じます。

■HPOシリーズ



- フラップの開き方
フラップが重なり合って構成されているので、上になっているフラップから側面の窓にマイナスドライバーを差し込み倒すようにすると開きます。
- フラップの閉じ方
下になっているフラップから押さえるようにして閉じます。

■HPEシリーズ



- フラップの開き方
側面の窓にマイナスドライバーを差し込み倒すようにすると開きます。
- フラップの閉じ方
フラップを上から押さえるようにして閉じます。

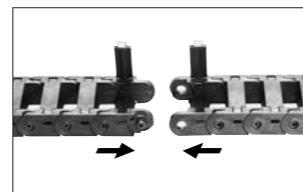
■HPCシリーズ



フラップのセンタをカッター(ニッパ)で切断してからケーブル・ホースを出し入れしてください。

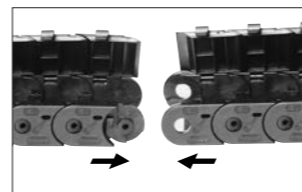
3. リンク連結方法

■HPUシリーズ



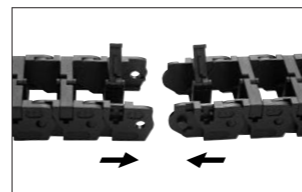
連結するリンクのフラップを開け、リンクの方向を揃えて両側から押し込みます。

■HPOシリーズ



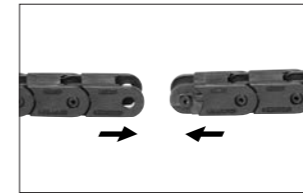
連結するリンクのフラップを開け、リンクの方向を揃えて両側から押し込みます。

■HPEシリーズ



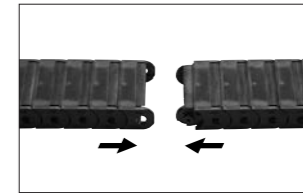
連結するリンクのフラップを開け、リンクの方向を揃えて両側から押し込みます。

■HPKシリーズ



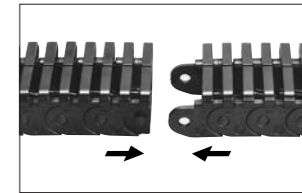
リンクの方向を揃えて両側から押し込むと連結されます。

■HPMシリーズ



リンクの方向を揃えて両側から押し込むと連結されます。

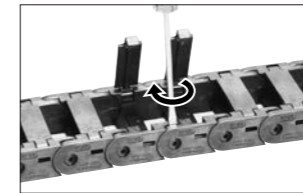
■HPCシリーズ



リンクの方向を揃え、片側だけをはめ込み、もう片側を押し込みます。

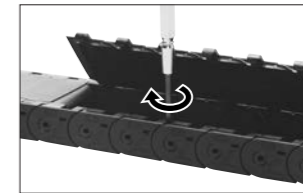
4. リンク切り離し方法

■HPUシリーズ



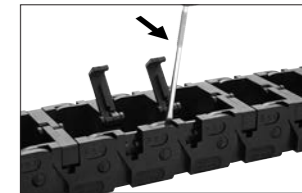
切り離すリンクのフラップを開け、リンクの隙間に差し込んだマイナスドライバーを廻すようにすると外れます。

■HPOシリーズ



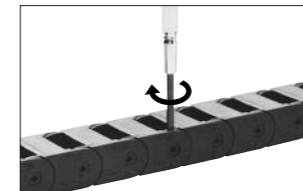
切り離すリンクのフラップを開け、リンクの隙間に差し込んだマイナスドライバーを廻すようにすると外れます。

■HPEシリーズ



切り離すリンクのフラップを開け、リンクの隙間に差し込んだマイナスドライバーを倒すと外れます。

■HPKシリーズ



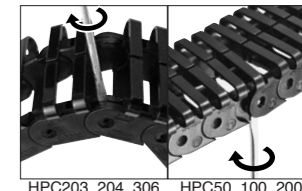
リンクの隙間に差し込んだマイナスドライバーを廻すようにすると外れます。

■HPMシリーズ



中心線より外周面側(R刻印側写真位置)のリンク隙間に差し込んだマイナスドライバーを起こすと外れます。

■HPCシリーズ

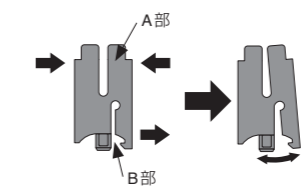


●HPC203, 204, 306
切り離しをするリンクを屈曲させ、リンクの隙間に差し込んだマイナスドライバーを廻すようにすると外れます。
●HPC50, 100, 200
リンクの隙間に差し込んだマイナスドライバーを廻すようにすると外れます。

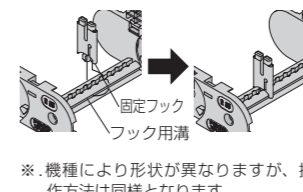
5. 仕切板の取付方法

■HPU408・412・615
HPO408・412

- フラップを開きます。
- 下図のように仕切板のA部をつまみB部を広げます。



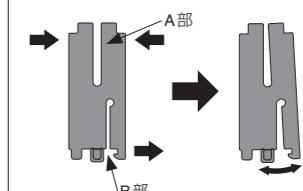
- 下図のように仕切板固定フックが必ずフック用溝に入るように装着します。



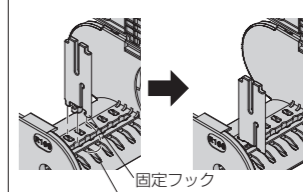
※.機種により形状異なりますが、操作方法は同様となります。

■HPO512

- フラップを開きます。
- 下図のように仕切板のA部をつまみB部を広げます。

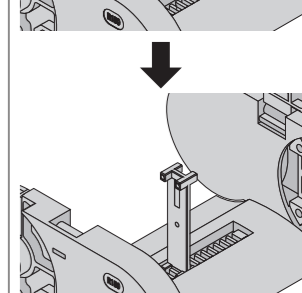
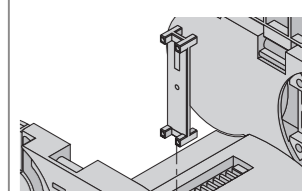


- 下図のように仕切板固定フックが必ずフック用溝に入るように装着します。



■HPO819

- フラップを開きます。
- 下図のように仕切板を仕切板溝に確実に押し込んで装着します。



販売元/株式会社ピスコ販売

本社・営業部/長野県上伊那郡南箕輪村3884-1 〒399-4586
TEL:0265(76)2511(代) FAX:0265(76)2851

製造元/株式会社日本ピスコ

TEL:0266(28)6072(代) FAX:0266(28)7349